

翔

2013 Jun

No.222

百万石蝶談会



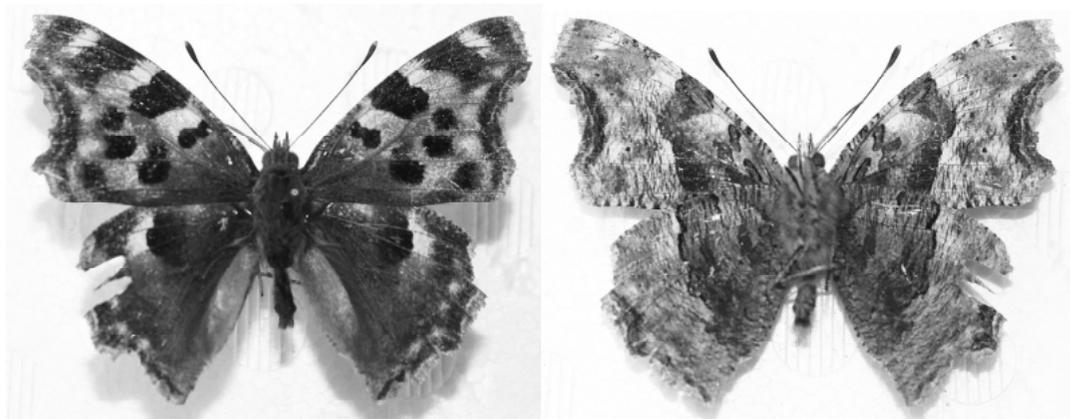
石川県白山市でエルタテハ越冬個体を採集

矢田新平

朝からの好天に誘われて、イヌワシ撮影に白山スーパー林道入り口まで出かけた。林道入り口のゲートはまだ閉じられており、その先は残雪で埋まっていた。ゲート傍に望遠レンズを備えて、ブナオ山の稜線を飛ぶイヌワシを待った。気温は8度、風はほとんどない。脚もとの残雪から冷気が伝わってきたが、陽だまりで直射日光が顔に当たると暑く感じた。



白山スーパー林道入口ゲートは閉じられており、その先の山々は残雪でまだまだ白い。「通行止め」ゲートの傍らでカメラを構えていたら、エルタテハが飛んできて望遠レンズに止まった。



エルタテハ 表

エルタテハ 裏

2013年3月24日 石川県白山市一里野白山スーパー林道入口ゲート 1♂ 矢田新平

午前11時半頃、望遠レンズに中型の蝶が止まった。越冬から醒めたタテハチョウの仲間だ。キタテハ大で模様はヒオドシチョウ風だった。しかしなんとなく違和感が脳裏を掠めたので、そっと手掴みした。翅の模様を調べたところ、後翅表、前縁中央黒斑の外側に明瞭な白斑があったことからエルタテハと直感した。しかし後翅裏面のエル字白斑が不明瞭であったことが不安材料であった。

松井正人氏によれば、石川県内で観察されているエルタテハは非常に少なく、越冬個体の観察はこれが初めてだと言う事である。



本来の目的だったブナオ山上空を飛翔するイヌワシの写真も、何かカットか撮影することができた

《やた しんぺい 〒923-0802 小松市上小松町丙192-8》

表紙のむし - ルリタテハ -

瑠璃色の模様が美しいのに、翅裏が濃色で地味なうえに厚みがあって光が透過しないため、小生の中では絵にならない（うまく撮れない）印象が強い蝶。写真は1980年代に撮影したもので当時愛用していたコダクロームフィルムは、現像処理を名古屋まで出さねばならないため撮影結果が判るまでに1週間を要し、シャッターを1回押すたびに60円以上の感材コストがかかっていた。そんな昔話はともかく、全てが格段に進化したデジカメ時代の今なら、もっと良い写真が撮れる筈。なのだが、...

小幡 英典

白山市の平野部で越冬後のクジャクチョウを採集

三上秀彦

写真1に見るような白山市平野部のハクサイ畑で、越冬後のクジャクチョウ *Inachis io* を確認した。越冬後の個体としては状態が良かったので、採集して標本とした(写真2)。

2013年4月14日 石川県白山市安養寺町 1♀ 三上秀彦 採集

現場は山側環状道路と国道157号線が交差する付近で、教材用のモンシロチョウを採集している時に発見した。ハクサイ、ブロッコリー、キャベツ等のアブラナ科野菜が広範囲に栽培されており、当該個体はハクサイで吸蜜中であった。

越冬後の個体が低標高地で確認されることは稀ではないようで、『石川県の昆虫』にも、金沢市犀川流域や旧辰口町での事例が取り上げられている(松井、1998)。しかし、完全な平地での確認例は珍しいと思われる。

標本は、筆者が勤務する石川県ふれあい昆虫館で保管している。



写真1. 越冬後のクジャクチョウを採集したハクサイ、ブロッコリー、キャベツ等のアブラナ科野菜の栽培地

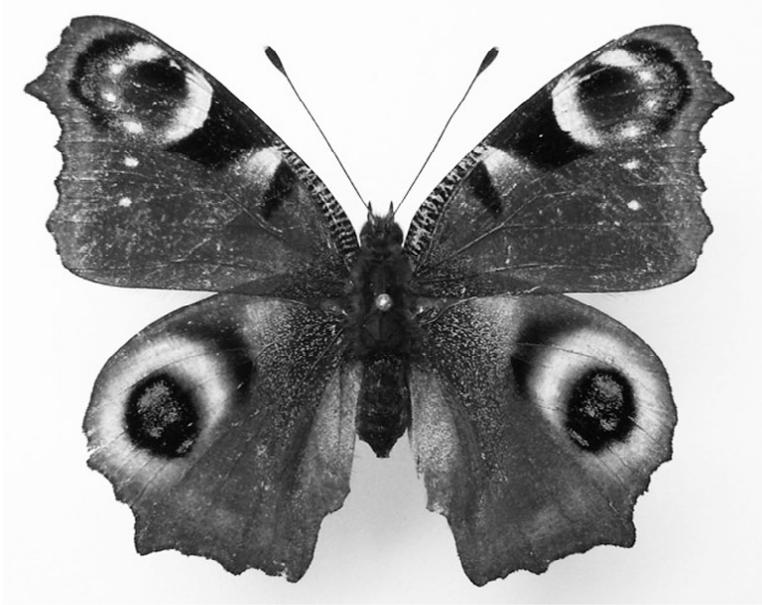


写真2. ハクサイで吸蜜中を採集したクジャクチョウ

《 参考文献 》

松井正人 (1998) チョウ目蝶類. 石川県の昆虫 : 342-365. 石川県環境安全部自然保護課(金沢).
《みかみ ひでひこ 〒920-0272 内灘町向陽台1丁目331番地》

カラスシジミとシータテハの金沢市内の発生地

松 井 正 人

石川県では、カラスシジミは珍しくシータテハは比較的珍しい。両種は、ともにオヒョウを食樹とし、オヒョウを見つけることが両種の発見につながる。

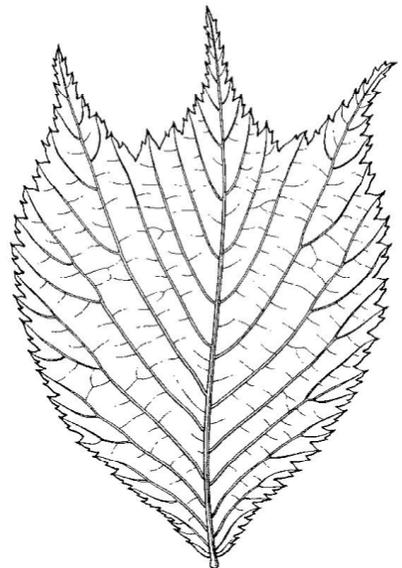
オヒョウは溪流沿いに生え、角が生えたような特徴のある葉で見つけ易いが、金沢市内には少なく、これまでに3箇所ではしか観察していない。

■金沢市堂

堂から大平沢や熊走に抜ける林道があり、この林道が大平沢方面と熊走方面に分かれる辺りから内川側の谷に下りたところにオヒョウが1本あり、シータテハの幼虫を観察している。

■金沢市寺津

上寺津発電所周辺には、川際から県道周辺にかけて、



角が生えたようなオヒョウ葉

何本ものオヒョウがあり、シータテハの幼虫や蛹、カラスシジミの卵を観察している。

■金沢市奥新保

医王山県立自然公園の医王山ビジターセンターから歩き出すと直ぐに、道は平坦な左と急な登りの右に分かれる。右に進み溪流に沿っていた道が山腹を登り始める辺りにオヒョウの大木があり、カラスシジミを採卵している。5月中下旬頃には、シータテハの幼虫が見つかると思われる。

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

金沢市三小牛町でシータテハを採集

浅地 哲也

市街地に近い金沢市三小牛町でシータテハの越冬成虫を採集しているのので、山深い湯涌温泉の近くで採集した個体とともに報告する。

2013年4月9日 石川県金沢市三小牛町 1頭 浅地哲也

2001年7月1日 石川県金沢市上原町 1頭 浅地哲也

標本箱に昆虫を入れ始めて10年を超え、採集初期に標本にしたものは、おろそかさや技術の未熟さが感じられるため、今年から標本のリニューアルを検討している。とりあえずは蝶の普通種からでもということなので、採集を始めたところ三小牛町の個体を採集した。

三小牛町の個体はキタテハの越冬成虫と認識していたが、標本箱に入れる際によく本種であることに気がついた。シータテハと分かっていたらもっと気合を入れて展翅していたのに、出来上がった展翅標本は、腹部が下がってしまい、まだまだおろそかで未熟な自分であった。



2013年4月9日、金沢市三小牛町で採集したシータテハ(裏面)

《あさじ てつや 〒921-8021 金沢市御影町26-21》

石川県白山市でシータテハの越冬成虫を採集

吉村 匡平

白山市河内町板尾にスギタニルリシジミを探しに行ったところ、川沿いの道で正午過ぎにシータテハの越冬成虫を観察し、林道脇にある日当たりの明るい岩に止まったところを採集した。当日は良い天気でも気温も20度を越え、目的だったスギタニルリシジミも観察することができた。



2013年4月14日、板尾で採集した越冬後のシータテハ

■2013年4月14日 石川県白山市河内町板尾 吉村匡平

シータテハ	1頭採集	スギタニルリシジミ	2♂採集
ギフチョウ	1♀目撃	ルリシジミ	多数目撃

《よしむら きょうへい 〒920-0965 金沢市笠舞2丁目3-3》

エルタテハ・キベリタテハ・クジャクチョウの越冬後の成虫観察について

松井 正人

この春、待ちに待ったエルタテハの越冬成虫が初観察されたり、平地の田園地帯でクジャクチョウが見つかった。エルタテハやクジャクチョウのほか、キベリタテハも石川県では白山山系の高地へ出かけないと観察できない珍しい蝶であるが、今回のように春には稀に麓や平地で観察できることがある。これら3種は成虫で越冬し、高地の厳しい冬を避けるため秋になると山を下りて冬を越すが、春に目覚めても高地の生息地は未だ雪に覆われているため、高地に春が来るまでは麓や平地に滞在している。

今回、本来の生息地から山を下りて冬を越す3種について、おおよそ標高300m以下で観察されたものについて紹介したい。しかし、エルタテハについては、この春に観察されたものが唯一の記録であるため、観察された標高はおおよそ600mであるが紹介する。

■キベリタテハ

石川県に産する高地性タテハ3種の中で、シーズン中の観察例は最も多く、金沢市見越山(1500m)や白山湯ノ谷(1600m)、白山楽々新道(1600m)のダケカンバから卵、幼虫、蛹を観察しており、標高1500m以上のダケカンバ帯を生息地としている。

金沢市と白山市の観察地は生息地近くの麓の溪谷であり、能美市の観察地は平地である。

1979年4月22日	金沢市倉谷川	1 頭目撃	松井正人	松井 (1993)
1988年4月16日	金沢市医王山箱矢谷	1 頭目撃	松井正人	松井 (1993)
2012年4月12日	能美市灯台笹	1 頭目撃	松田俊郎	松田 (2013)
1991年5月20日	白山市河内町板尾	1 頭目撃	吉村久貴	吉村 (1992)
2012年4月18日	白山市河内町板尾	1 頭目撃	松田俊郎	松田 (2013)

■クジャクチョウ

県内では、キベリタテハに次いで成虫の観察例は多いが、卵や幼虫などは未だ観察されていない。シーズン中は1000m以上の高地で観察され、その多くは2000m以上のお花畑で観察されている。

越冬後の個体は、生息地の麓の溪谷や生息地から遠く離れた平地で観察されており、白山市の観察地は、平地の田園地帯にある。

1971年4月	金沢市板ヶ谷	1 ♀	時国健太郎	時国 (1972)
1972年4月4日	金沢市見定	4 頭目撃	松井正人	松井 (1993)
1972年4月4日	金沢市日尾	1 頭採集 2 頭目撃	松井正人	松井 (1993)
1972年4月4日	金沢市犀川ダム	1 頭目撃	松井正人	松井 (1993)
2008年5月3日	金沢市犀川ダム	1 頭	細沼 宏	細沼 (2008)
1991年5月19日	能美市鍋谷	1 頭目撃	松田俊郎	松田 (1991)
2013年4月14日	白山市安養寺	1 ♀	三上秀彦	三上 (2013)

■エルタテハ

3種の中ではシーズン中の観察例は最も少なく、1953年から2012年にかけて42頭が報告されているに過ぎず、そのうちの10頭は2012年に観察されている。白山のお花畑での観察が最も多く、次いで白山湯ノ谷で多く観察されている。本種についても、卵や幼虫などは観察されていない。

越冬した成虫は、この春に初めて観察され、この記録が唯一の記録である。

2013年3月19日	白山市一里野白山スーパー林道入口	1 ♂	矢田新平	矢田 (2013)
------------	------------------	-----	------	-----------

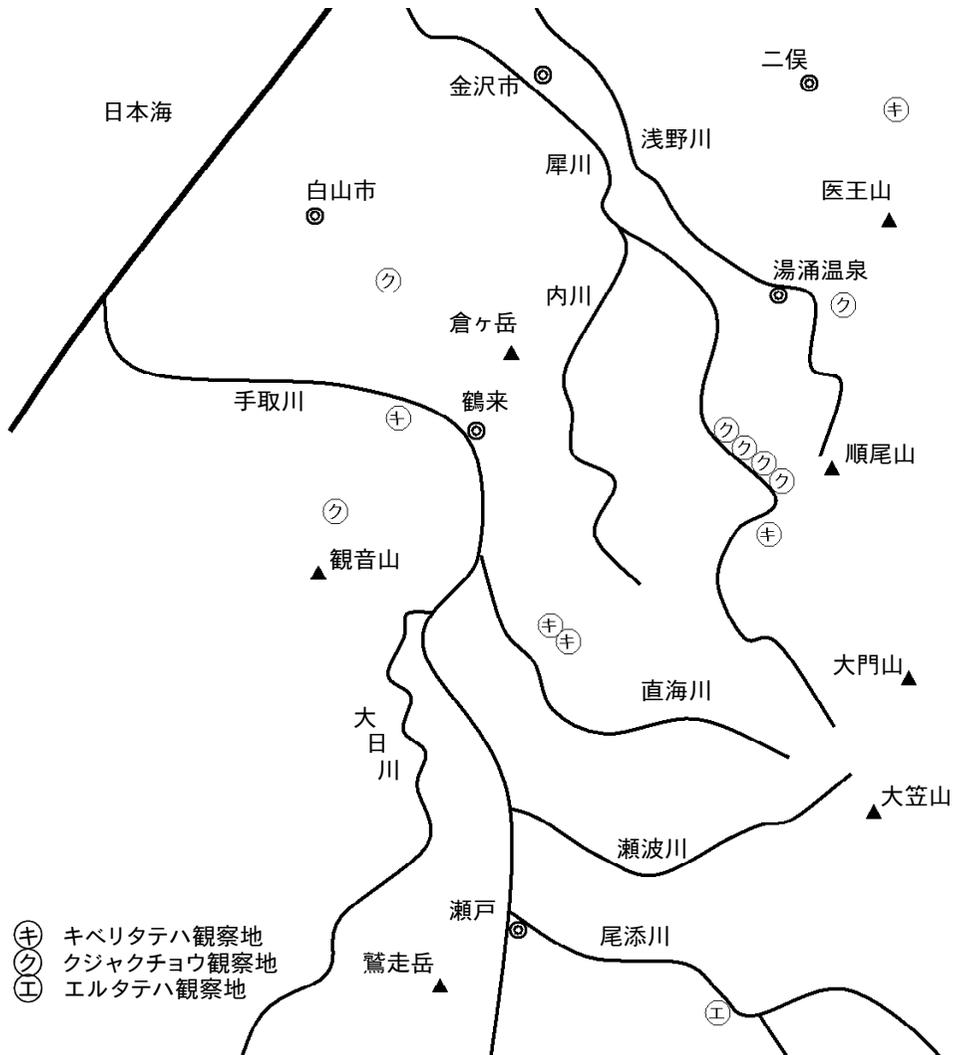


図1. キベリタテハ・クジャクチョウ・エルタテハの越冬後の成虫観察地

《 参考文献 》

- 細沼 宏 (2008) 金沢市犀川ダムでクジャクチョウを採集. 翔(192):8.
 松田俊郎 (1991) 辰口町鍋谷にてクジャクチョウを目撃. 翔(92):2.
 松田俊郎 (2013) 春季におけるキベリタテハの低地での目撃例. 翔(220):1-2.
 松井正人 (1993) 石川県のタテハチョウ5. 翔(101):3-6.
 三上秀彦 (2013) 白山市の平野部で越冬後のクジャクチョウを採集. 翔(222):3-4.
 時国健太郎 (1972) 蝶の新産地. とっくりばち(22・23):4.
 矢田新平 (2013) 石川県白山市でエルタテハ越冬個体を採集. 翔(222):1-2.
 吉村久貴 (1992) 河内村板尾におけるキベリタテハの目撃記録. 翔(99):7.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

白山市大道谷の標高900～1000m付近で観察したセミとチョウ

松井正人

石川県白山市旧白峰村の大道谷から標高1130mの小豆峠の近くまで林道があり、入口の道幅は広く標高1000m付近までは舗装されている。8月には、標高900m付近でアカエゾゼミ、標高1000m付近ではコエゾゼミが鳴き、標高1000m付近にある三叉路より奥の小豆峠近くの林道脇には、ヨツバヒヨドリにアサギマダラが群れている。

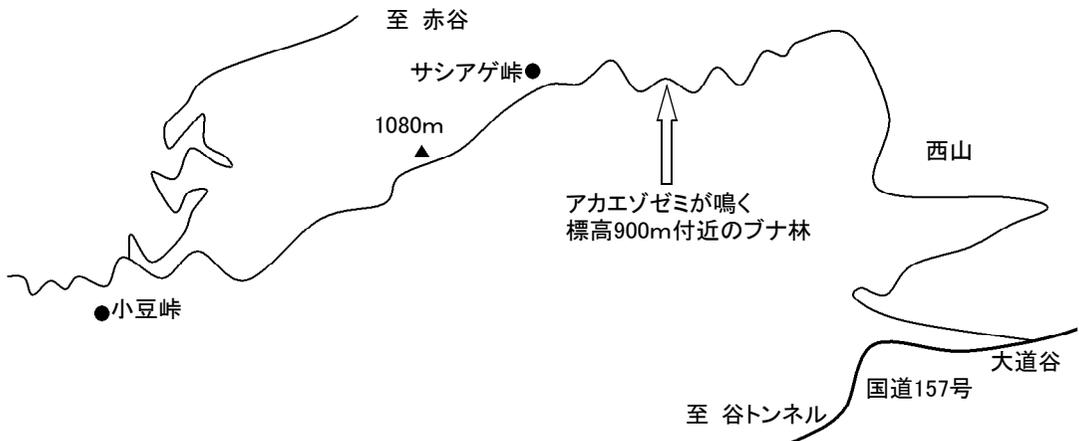
2012年はエゾゼミ類のハズレ年で、石川県内どこへ行ってもほとんど声を聞くことができなかったが、この場所では少ないながら聞くことができたので、同時に観察したチョウとともに報告する。観察者は総て筆者である。

■チョウ

アオバセセリ	2012年8月19日	標高1000m小豆峠付近	1頭目撃
ヒメキマダラセセリ	2012年7月25日	標高900m付近	1頭目撃
イチモンジセセリ	2012年7月25日	標高900m付近	5頭目撃
ミヤマカラスアゲハ	2012年8月12日	標高900m付近	1♂目撃
ミヤマカラスアゲハ	2012年8月19日	標高1000m小豆峠付近	1♂目撃
スジボソヤマキチョウ	2012年7月28日	標高1000m付近	2♂1♀目撃
モンキチョウ	2012年8月12日	標高900m付近	1♂1♀目撃
ルリシジミ	2012年7月25日	標高900m付近	2頭目撃
ツバメシジミ	2012年7月28日	標高1000m付近	1♀目撃
トラフシジミ	2012年7月25日	標高900m付近	2頭目撃
アサギマダラ	2012年8月5日	標高1000m小豆峠付近	5♂1♀目撃
アサギマダラ	2012年8月12日	標高1000m小豆峠付近	10♂1♀目撃
アサギマダラ	2012年8月19日	標高1000m小豆峠付近	14♂7♀目撃
テングチョウ	2012年7月25日	標高900m付近	1頭目撃
アカタテハ	2012年7月25日	標高900m付近	2頭目撃
アサマイチモンジ	2012年8月12日	標高900m付近	1頭目撃
サカハチチョウ	2012年7月25日	標高900m付近	10頭目撃
サカハチチョウ	2012年8月5日	標高900m付近	10頭目撃
サカハチチョウ	2012年8月19日	標高1000m小豆峠付近	4頭目撃
ウラギンヒョウモン	2012年7月25日	標高900m付近	2♂目撃
ウラギンヒョウモン	2012年8月5日	標高900m付近	1♀目撃
オオウラギンスジヒョウモン	2012年7月25日	標高900m付近	6♂1♀目撃
オオウラギンスジヒョウモン	2012年8月5日	標高900m付近	2♀目撃
オオウラギンスジヒョウモン	2012年8月19日	標高1000m小豆峠付近	3♂1♀目撃
ミドリヒョウモン	2012年7月25日	標高900m付近	8♂2♀目撃
ミドリヒョウモン	2012年8月5日	標高900m付近	1♀目撃
ミドリヒョウモン	2012年8月19日	標高1000m小豆峠付近	2♂目撃

■セミ

エゾハルゼミ	2012年7月25日	標高900m付近	声
エゾハルゼミ	2012年7月28日	標高900m～1000m付近	声
アカエゾゼミ	2012年8月5日	標高900m付近	声
コエゾゼミ	2012年7月28日	標高1000m付近	声
ヒグラシ	2012年7月25日	標高900m付近	声
ヒグラシ	2012年8月5日	標高900m付近	声
ヒグラシ	2012年8月12日	標高900m付近	声



アカエゾゼミが鳴く標高900m付近のブナ林

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

会員の動き・しゃばの動き

■春爛漫

3月21日、能美市でギフチョウが初観察され、好天に恵まれた22日は満を持していたかのように小松市や能美市、金沢市の各地で一斉に観察され春爛漫となった。

■エルタテハの越冬个体

昨年はエルタテハの観察が多く、今年は低地で越冬个体が観察されないかと期待していたところ、越冬个体も多かったらしく白山市で観察された。越冬个体の観察は県内初で、詳細はこの号に報告されている。

■59号から変更

石川県ふれあい昆虫館の情報誌「むしかご通信」は、2号から続いていた表紙がオシャレな感じに変更された。写真日記が表紙を飾り、初回はツバメシジミが紹介されている。もうひとつ変更があり、年4回の発行が残念ながら3回に減ってしまった。

■まさかのシータテハ

昔作った標本が色あせてきたと、この春から標本のリニューアルを始めた浅地氏、まずは三小牛でキタテハをゲットしたものの、何となく雰囲気が違う。展翅をはずして、じっくり眺めるとシータテハだった。

■蚊に刺されない原因は

人も虫も、食べると体に悪いと分かったものは食べない。知らずに食べると、腹痛をおこしたり下痢したりする。蚊に刺されない人や刺されにくい人は、蚊の方から、この血はヤバイと敬遠しているのかもしれない。蚊に刺されて良かったと思う今日このごろである。

■シンジュ（ニワウルシ）に要注意

終息したかと思われていたシタバニハゴロモだが、この春新たな3カ所で卵塊が見つかった。広がっている可能性もあるので、シンジュが有ったら注意してほしい。

■スギタニルリの副産物

4月14日吉村氏、お天気に誘われ板尾でスギタニルリ探し。うつむいて下ばかり見ていたら、シータテハがフワリと舞い降り、ラッキーとばかりに網を振る。たくさんルリをかき分けてスギタニも採集。

■高速バスを乗り継いで

何かと危なっかしい高速バスを使って連休中に青森に向かった指田氏、やっとの事で発生地にたどり着いたものの、パツとしない天気。いらだちを覚え始める頃、わずかに裂けた雲間から陽が射し始め、チラチラとヒメギフが舞い始めた。

■触覚修理のテクニック

ポッキリ折れてしまった触覚は、木工用ボンドを使って修理するが、ボンドに洗剤を混ぜることで接着し易くなる。折れた触覚は、ピンセットでつままずに湿らした爪楊枝にくっつけて運ぶと便利。この年になって良いことを教わった。

■標本箱の中でカビが生える

かつて井村会長の標本は標本箱の中でカビていたが、乾燥させないまま標本箱に入っていたのが原因だった。しかし、大宮氏は、完全に乾燥させてからドイツ箱に入れているのにカビるらしい。標本箱の構造が悪いのか、それとも管理場所が悪いのか。

■ 例会の記録 ■

4月11日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、2012年度会計が約2万円の赤字となったことについて対応を検討。①会誌のカラーページを白黒に戻し印刷費を下げる。②会誌の発行回数を減らして印刷費を下げる。③会費を上げる。などの意見がでたが、これまで長年据え置かれてきた年会費2千円を3千円とすることに決まった。

主な話題は、3月のギフチョウ、エルタテハの越冬成虫、ムネアカハラヒロカマキリの区別点、犀川ダムで採れたアカジマトラ、人知れず発生していたシンジュキノカワガ、メススジゲンゴ調査、標本箱のフタを開ける道具、などなど。

参加は、井村、浅地、竹谷、富沢、松井、浅野、吉村、大宮の8人。

■ 例会の記録 ■

5月9日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、マダラ誘引スプレーについて大宮氏が2回目の報告。スジカバを誘引したヨツバヒヨドリスプレーの効果は2～3日で消えたので、変質しないよう冷蔵管理すれば長持ちするかも知れない。何種類かのピロリジジンの配合によって、誘引されるマダラが異なるのではないか。次はスナビキソウスプレーを試すらしい。

その他の話題は、アサギは累代飼育出来ないの？、羽状複葉のアワブキからアオバセセリを採幼、沖縄のおみやげはまだ生きている、チューリングルで虫の声を検索、ハンミョウハザードマップ、良い標本箱の条件、蝶標本のリニューアル、ユニットボックスは必需品、などなど。

参加は、吉村、浅地、松井、大宮の4人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

矢田新平：石川県白山市でエルタテハ越冬個体を採集	1
三上秀彦：白山市の平野部で越冬後のクジャクチョウを採集	3
松井正人：カラスシジミとシータテハの金沢市内の発生地	4
浅地哲也：金沢市三小牛町でシータテハを採集	5
吉村匡平：石川県白山市でシータテハの越冬成虫を採集	6
松井正人：エルタテハ・キベリタテハ・クジャクチョウの越冬後の成虫観察について	6
松井正人：白山市大道谷の標高900～1000m付近で観察したセミとチョウ	9
編集部：会員の動き・しゃばの動き	11

翔 222号

Tobu 2013年6月10日発行
百万石蝶談会
金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>
☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

